



保健だより

キッズアカデミー保育園

2021年1月号

今月の目標

風邪などの感染症に負けない体を作ろう

11月の園での病気・感染症の様子 (11月30日現在)

発熱10名 溶連菌感染症3名 アデノウイルス感染症3名 下痢3名 せき1名

鼻水1名 水いぼ1名

※現在、大分市では感染性胃腸炎の患者報告数が増加しています。予防の為に調理前・食事前や排便後の手洗いをし、タオルの共用は避けましょう。

感染性胃腸炎は主にウイルスなどの微生物を原因とする胃腸炎の総称です。原因となるウイルスには、「ノロウイルス」、「ロタウイルス」、「サポウイルス」、「アデノウイルス」などがあり、主な症状は腹痛・下痢、嘔吐、発熱です。「ロタウイルス」、「アデノウイルス」による胃腸炎は、乳幼児に多く見られます。

予防するのはもちろんですが、感染してしまった後のケアも重要です。

病院で治療した上で、下記のケア方法を参考にして重症化を防いでください。

冬場に多い おう吐・下痢

この時期、気をつけたいのが「ウイルス性胃腸炎」。ノロウイルス、ロタウイルスなどに感染すると、おう吐と水のようなひどい下痢が起こります。高熱はあまり出ませんが、おう吐や下痢で体内の水分が失われ、脱水症状になると危険です。何よりもまず水分補給を心がけ、安静にして過ごしましょう。

おう吐・下痢のケア



子ども用イオン飲料や湯冷ましを少しずつ、こまめに与える

おしりはこすらずにお湯で洗い、タオルで軽く押さえて水分をふき取る

白っぽい下痢に注意

白っぽい下痢便を特徴とするのが、ロタウイルスによる胃腸炎。おう吐と下痢によって体の水分と電解質が失われ、脱水症状を引き起こしやすくなります。

- 症状**
- 突然のおう吐や白っぽい下痢便
 - 37～38℃の発熱がある場合も (おう吐はない場合もある)

- ケア**
- こまめな水分補給
 - 消化のよい食事
 - 乳児は下痢便の付いたおむつを持って病院を受診

おう吐と下痢が治まり、いつもどおり食事ができたら、登園できます



感染性胃腸炎の家庭内感染を防ぐためには、おう吐物等の適切な処理が大切です。おう吐した場合の処理手順等を記載しますので参考にしてください。

子どもが吐いたら……

ここを確認!

- おなかを痛がったり、下痢をしていないか?
- 食べすぎや飲みすぎはなかったか?
- 吐く前に食べたものは何だったか?
- 吐く前に頭やおなかを打っていないか?
- 熱はないか?

吐いた後ぐったりしている、機嫌が悪いなど、様子によっては急いで受診しましょう!

何度も吐き続けるときは……

- 食べ物や飲み物を与えず、安静にする
- 吐いたものが気管に入らないように、上体を起こすか、顔を横に向けて寝かせる

吐き気が治ったら……

- さゆや麦茶、野菜スープなどを、ひと口ずつゆっくり飲ませる

知っておこう

おう吐物の処理

冬場に流行するウイルス性胃腸炎は、ノロウイルスやロタウイルスなどによって感染します。家庭でも二次感染予防のために、おう吐物の処理にご留意ください。

- ① 窓を開けて使い捨ての手袋とマスクを着け、使い捨ての布などでおう吐物を周辺からふき取る。
- ② 次亜塩素酸ナトリウム (塩素系漂白剤) を薄めた消毒液で、おう吐物のあった部分を再度ふく。汚れた物はすべてポリ袋に入れ、それらは、消毒液をかけてから密封して捨てる。
- ③ おう吐物の付いた服は、85℃以上の熱湯に1分間つけてから洗濯する。
- ④ さらに乾燥機にかけたり、アイロンをかけたりすると、熱に弱いノロウイルスは死滅しやすい。



次亜塩素酸ナトリウム消毒液の作り方



※100倍に薄めた塩素系漂白剤

水をペットボトル 500mlに市販の塩素系漂白剤(ハイター等)をペットボトルキャップ1杯(5cc)入れたものが100倍に当たります。間違えて飲まないように気を付けてください。

使用したら作置きはせず、すぐに捨ててください。

医師が意見書を記入することが考えられる感染症及び意見書の改訂について

先月お配りいたしました、感染症の書類について下記の通り改訂いたします

◎アデノウイルス感染症について「アデノウイルス扁桃炎」と「アデノウイルス胃腸炎」の2種類に分けました。胃腸炎につきましては、今まで通りの「登園届」ですが扁桃炎につきましては「意見書」が必要となります。

登園のめやすも扁桃炎は「咽頭結膜熱」に分類されますので、変更となります。

ご不明な点がございましたら、職員までお問い合わせください。

※変更した感染症に関わる書類と「意見書」を配布いたしますのでご参考にしてください。